

平成27年6月12日
地域産業・技術振興課

「レンブラント版画と越前和紙展」オープニングセレモニー

オランダ・アムステルダムのレンブラントハウス美術館において開催される「レンブラント版画と越前和紙展（6月12日～9月20日）」のオープニングセレモニーに西川知事が出席しましたので、その概要についてお知らせします。

1 日時・場所

(1) 日時 6月11日（木）17:30～18:20

(2) 場所 南教会（ザウダーケルク）

※レンブラントハウス美術館から南へ約120m

2 出席者等

(1) 主催者 レンブラントハウス美術館

(2) 出席者

○主催者代表

レンブラントハウス美術館 ミハエル・ハウサー

○来賓

アムステルダム市長 エベルハルド・ファン・デル・ラーン

アムステルフェーン市長 ミリアム・ファン・ウット・フェルド

欧州三菱商事会社社長 林 春樹

福井県知事 西川 一誠

福井県和紙工業協同組合理事長 石川 浩

○その他

現地メディア、美術関係者等約210名

4 概要

南教会において、「レンブラント版画と越前和紙展」のオープニングセレモニーが盛大に行われました。

ミハエル・ハウサー館長は開会挨拶の中で、越前和紙がつかない日本とオランダの交流を非常に嬉しく思い、展示会によりさらに交流が進むことを期待すると述べました。

西川知事は英語でスピーチを行い、福井の伝統工芸の紹介、レンブラント調査の進捗状況、福井県とオランダの関わりなどにも触れながら、福井をアピールしました。

また、「長い伝統と文化を育んできた越前和紙の魅力を一人でも多くの方にご覧いただきたい。」と展示会の波及効果に大きな期待を寄せていました。その後、参加者は福井の日本酒で乾杯し、歓談を楽しみました。

セレモニーに合わせて現地を訪問している福井県和紙工業協同組合の石川浩理事長は、越前和紙の特徴やオランダ国内での入手先について招待客から多くの質問を受け、今後のブランド力向上・販路拡大に大きな手応えを感じたと話をしていました。

レンブラントハウス美術館では、レンブラントの版画約28点のほか、越前和紙の原料や紙漉きの道具等が展示されており、和紙の生産工程を紹介するDVDも放映されています。中庭では、和紙の職人 西野正洋氏 による紙漉きの実演が行われ、オープニングセレモニーに招待された画家の女性は「次は越前和紙を使用して絵を書いてみたい」と述べるなど、多くの来場者から和紙職人の技の素晴らしさに驚嘆の声が上がっていました。

館内の土産物店では、和紙で作られた名刺入れや千代紙等も販売され、来場者が興味深そうに手に取っていました。



オープニングセレモニー
でスピーチをする西川知事



紙漉きのワークショップ（セレモニー後）

左：林 欧州三菱商事会社社長

右：西野正洋 福井県和紙工業協同組合青年部前会長



レンブラントハウス学芸員による解説
右：デービット・デ・ウィット学芸員



セレモニーでの鏡割り

（左から）西川知事、アムステルダム市長、
アムステルフェーン市長、レンブラントハ
ウス美術館長、欧州三菱商事会社社長